

27年 第3学年 家庭 年間指導計画

1 教科目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点

生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 評価基準（100点満点）

観点 方法	生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解	合計
定期試験	10	10	10	20	50
提出物	5				5
忘れ物・授業態度	10				10
作品		15	15		30
小テスト				5	5
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい技術・家庭 家庭分野」（東京書籍）

5 年間学習計画（計 17.5時間）

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	3編 わたしたちの 成長と家族・地 域 ○家庭と家族 関係	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や家族の基本的な機能を知り、家庭や家族の大切さについて考えることができる。 家庭生活と地域とのかかわりについて理解できる。 	2	自分や家族、地域とのかかわりについて関心を持っている。（関心） 家庭や家族の機能について理解している。（知識） 家庭や家族の重要性について理解している。（知識） 家庭生活は、地域と相互に関連して成り立っていることを理解している。（知識） 家族とのかかわりや、これからの自分の生活に関心を持ち、実践しようとしている。（関心） 家族関係をよりよくする方法を考え、工夫している。（工夫）	提出物 自己 評価 観察
	5	1 家庭や家族の機能や地域とのかかわりを考えよう				
	6	2 家族関係をより良くしていこう ★言語活動 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> 家族とのかかわりや、これからの自分の家庭生活について考える。 家族関係をよりよくする方法を考える。 	2		
2	7	○幼児の生活と家族 1 幼いころを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の幼児期を振り返り、幼いころの夢、エピソードなどをまとめる。 	5	自分の幼いころをさまざまな視点から振り返ろうとしている。（関心） 幼児の心身の発達と生活の特徴について理解している。（知識） 心身の発達には一般的な傾向や順序性があることを理解している。（知識） 幼児の発達を支える家族の役割について理解している。（知識） 幼児の心身の発達に応じて、周囲の大人が適切にか	定期 試験
	9	2 幼児の心身の発達と生活を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の心身の発達の特徴と生活について考える。 幼児の成長を支える家族の役割を考える。 幼児の生活習慣がどのように身に付いていくのか考える。 			

3	10	3 幼児の生活と遊びを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の1日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考える。 ・幼児のいろいろな遊びを観察し、遊び道具の役割について考える。 ・遊び道具について調べる。 	2	かわり、身に付けさせる必要があることを理解している。(知識) 幼児の遊びに注目して観察している。(関心)	提出物 自己評価 観察 自己評価 実技 試験 定期試験
		11	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具を作る。 	3	幼児に関心を持って遊び道具の製作をしている。(関心) 幼児の発達段階を押さえた遊び道具を工夫し、製作することができる。(工夫)(技能) 幼児にとっての遊びの意義を理解している。(知識) 幼児にとっての遊びは生活そのものであることを理解している。(知識) 遊びは、身体の発育や運動機能、言語、情緒、社会性などを促していることを理解している。(知識)	
	12	4 幼児と触れ合おう ★言語活動 幼児にあった接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える 1 2 幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表することができる 3 5 子どもにとっての家族を考えよう 3年間の学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。 ・幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。 	3	課題を持って、幼児と適切にかかわろうとしている。幼児への関心を深めることができる。(関心) 幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考えて観察できる。(技能)	提出物 自己評価 観察 定期試験
		1	子どもを育てる環境としての家族の役割を理解している。(知識)			